

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宮ノ越長持保存会100周年継承記念事業
事業主体 (連絡先)	宮ノ越長持保存会 木曾郡木曾町日義 2576 番地
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	881,839円 (うち支援金: 661,000円)

事業内容

長持行列は大正8年から100年続く伝統行事であるが、少子高齢化による若者の減少(会員数の減少)があり、この先継続して長持の歴史と文化を継承してため大箱の復興再現や後継者育成の取組みを行った。

- ①大箱3竿の復興再現による歴史文化伝承。
- ②子ども長持2竿新設とCSによる後継者育成。
- ③打上げ花火による歴史及び記念事業周知。
- ④記念誌の作成・発行による100年の記録保存と地域内外への文化歴史周知。



【子ども長持体験】

【目標・ねらい】

- ①大箱の復興再現による歴史伝承
- ②後継者の育成・会員数の増加
- ③100年の記録を残す記念誌作成による歴史文化伝承

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用し、大箱の復興再現により歴史文化の伝承ができた。
- ②子ども長持が新設されたことにより体験会が開催でき後継者育成に繋げることができた。この事業をきっかけに新たに2名が保存会員に入会し、会員数の増加につながった。また、打上げ花火により記念行事の周知と地域住民の参画を促すことができた。
- ③100年記念誌の作成・配布により長持の歴史文化を地元住民の他、町内小中学校や町外各図書館などに送り広く周知することができた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・二・三十代の保存会員数が増えた。
- ・学校連携による後継者育成体制の構築ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長持の歴史文化の伝承と活動は保存会員の増加、特に若者の入会が重要なことから、学校連携による後継者育成に取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある